

# 万葉園だより

第35号

平成25年1月10日 発行

編集・発行 社会福祉法人 南相馬福祉会

特別養護老人ホーム 万葉園

〒979-2334 福島県南相馬市鹿島区西町三丁目3番地  
TEL(0244)67-1551 FAX(0244)67-1552  
TEL(0244)67-1554(たんぼぼ直通)  
E-mail manyouen@orion.ocn.ne.jp  
URL <http://minamisoma.ask-daiko.co.jp/>



〔事業内容〕  
特別養護老人ホーム 万葉園……定員50人  
グループホーム たんぼぼ……定員9人  
グループホーム 小高(なごみの家)……定員9人



## 百歳賀寿

5月10日に万葉園開所以来初めての百歳を迎えられた八木平イチノ様には、総理大臣からの賀寿状が届きました。

八木平様は現在も、毎日笑顔で元気に過ごされています。

八木平様初め、利用者の皆さんが笑顔で楽しく生活できるよう、これからも職員一同お手伝いをさせていただきます。

## 白寿賀寿

11月10日(土)に伊佐見ヨシコ様が99歳、白寿のお祝いを迎えられました。

市役所の方から記念品の贈呈も行われ、伊佐見様も終始笑顔で、「次は百歳のお祝いですね」と声を掛けられると、照れくさそうにされていました。

また、利用者の皆さんと職員とでお祝いのケーキ作りをしました。出来上がったケーキを伊佐見様にお見せし、「おめでとうございます」と伝えると、「ありがとう」と素敵な笑顔。ケーキも利用者の皆さんと一緒に美味しく召し上がって頂きました。



新年の  
ごあいさつ

万葉園施設長  
菅原 武

新年明けましておめでとうございます。

師走の選挙に振り回されての年越しとなつてしまいました。が、今年は、万葉園増床計画の理事会承認を受け、平成26年度中の開設に向けた作業に取りかかります。この計画には鹿島区における長年の懸案であったシヨートステイ床10床の整備を含んでおり、在宅介護サービス利用者への利便性向上に大きく寄与するものと考えています。

社会福祉法人は、地域に必要とされてこそ存在であり、その使命は安心感をお届けすることと考えています。地域に何か必要か、皆様の声を聞きながら共に歩む存在でありたいと思っています。復興半ばにて諸問題も山積しておりますが、これまで以上の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 外食 ～お寿司～

「寿司が食べたい」。この一言で今回の行事の計画が始まりました。

「好きなときに好きなものを好きなだけ食べる」という当たり前のことをなかなか実現できないのが現状ですが、こうして時折出かける外食がご利用者の楽しいひと時になっています。

途中、車窓からの風景も楽しみのひとつ。



お寿司を堪能されたご利用者の方は、いつも以上の満面の笑みで食事を楽しまれていました。



## 敬老会

9月13日(木)、敬老会を開催しました。今年度は、万葉園、たんぼぼ、なごみの家合同での実施となり、百歳を迎えるご利用者を初め、賀寿を迎えられる方は合わせて14名いらっしゃいました。昨年度の東日本大震災後の混乱にもかかわらず、元気に



賀寿を迎えられたことは本当に喜ばしく思います。

当日は、あきえ会様のご協力を得て歌と踊りを披露して頂きました。ご利用者の中には一緒に踊ったり歌を口ずさむ方もいらっしゃり、楽しい時間を過ごされたようです。本年も、ご利用者の皆さんに楽しんで頂ける敬老会を行いたいと思います。



## 万葉園・たんぼぼ・なごみの家 運動会



10月19日(金)、万葉園大食堂にて、万葉園、たんぼぼ、なごみの家の合同運動会を開催しました。どのチームも気合充分でいざ開会。

種目はパン食い競争、借り物リレー、ペタンク(お手玉を投げ円内の得点を狙う競技)、職員による仮装競争の4種目で、どの種目でも真剣な表情が見られました。接戦で迎えた最終のペタンク競技。ここで逆転勝利をつかんだ万葉園ほのぼのエリアチームが1位となりました。

中には「1位取れなかったなあ」と残念がられるご利用者もいましたが、「みんな良く頑張った」と自分たちのチームで励まし合っている姿も見られました。

また、次回も大いに盛り上がる運動会にしたいです。



# 万葉園 たんぽぽ なごみの家

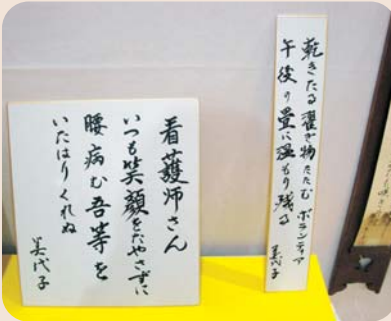
## 芸術祭

前号の万葉園だよりで、ボランティアの方々、地域の皆さんへ作品募集の声をかけし、11月5日(月)より芸術祭の展示を行いました。

今回は、なごみの家やたんぽぽはもちろんです、万葉園でも各エリアより作品の参加があり、多彩で力の入った作品が並びました。事務室や医務室からも作品が集まりにぎやかな芸術祭となりました。

ご利用者の方々も作品を鑑賞され「随分並べたね。部屋に何個か飾りたいくらいだよ」と話され、楽しんでいました。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。今年の秋も素敵な芸術作品の数々をお待ちしております。



# グループホーム たんぽぽ & なごみの家です

新年あけましておめでとうございます。

なごみの家も昨年1月に鹿島区寺内塚合に開設し一年が経ちました。昨年は、ご家族の皆様、地域の皆様の温かいご支援をいただきありがとうございます。初めは緊張しましたが、自治会長さん初め、皆様に声をかけていただき、ご利用者、職員ともに楽しく地域の行事に参加させて頂きました。

さて昨年の事になりますが、11月10日(土)〜11日(日)鹿島区のまごころセンター前特設会場で『かしまの産業文化祭』がありました。

10日(土)、なごみの家のご利用者3名、たんぽぽのご利用者2名で見学に行きました。小雨模様で肌寒い日でしたが、大勢の人たちが来ていました。最前列でかしまハーモニカクラブ様の



演奏を聴きました。哀愁漂う何とも懐かしいメロディが流れてくると、思わず自頭が熱くなり口ずさみたくありません。素晴らしい演奏をありがとうございました。

その後は、出店で昔懐かしい綿菓子を買ったり、迫力ある北郷騎馬会の武器、馬具の展示の前で

写真を撮ったりと、短い時間でしたが利用者の皆さんも楽しんでいましたよ。

今年も様々な催し物へ参加し、地域の皆様と交流を深めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



# 紅葉ドライブ



秋晴れの11月、万葉園キャラバン号にて鹿島区北海老地区の宝蔵寺に紅葉ドライブに行ってきました。宝蔵寺の紅葉は有名で、カエドモミの木は鹿島区の天然記念物に指定されているとのこと。

色づいた葉を拾うご利用者や、車窓から眺めながら満足されるご利用者など、それぞれに秋を感じられたようです。



ぜひ、今後も利用者の皆さんと季節を満喫に行きたいです。



# 芋煮会



紅葉が見頃となり、冬に向け寒さも厳しくなる時期を迎えた11月19日(月)に、万葉園にて秋の風物詩、「芋煮会」を開催しました。

調理が始まると、さすが！ベテランの主婦の方々は違いますね。職員に「どの位の大ききで切るの?」「この位か?」と聞き、トントントンと手際良く調理をされていました。

皆さん、「丁度良い味付けで、野菜も柔らかくて美味しかった」と大変喜ばれていました。

身体も心も温まる楽し〜いと時でした。



# ボランティア紹介

平成24年9月11日〜平成24年12月4日  
●敬老会  
あきえ会様  
●敬老会  
万葉園ボランティア様  
(洗濯たたみ、クラブ活動、演奏など)

但野 良一様 平成24年9月11日〜  
相良 正様 平成24年12月4日  
寄 贈  
今野 富子様 平成24年9月11日〜  
猪瀬 武清様 平成24年12月4日  
絵画 みかん、バナナ



# 医務室コーナー

～魂への心くばり、乾燥した季節に思うこと～

障害をもって苦しんでいる人、脳卒中や心筋梗塞で倒れた人、糖尿病で治療を受けている人、がんの告知を受けて悲しみの中にいる人、がんとの闘いに希望を見出そうとしている人、がんとの闘いに疲れた人、生きている意味が見えなくなってしまう人に「がんばらない」の主人公たちに来てほしいと思う。笑いたいと思っている人は、ワッハッハと笑ったり、ニヤツとしてなるほどと思ってほしい。泣きたい人は、いっぱい泣いてほしい。いっぱい泣くと人間は不思議と元気が出てくるものだ。元気がある人はこの本を読んで、もっともっと元気を出してもらいたい。小さな元気しかもちあわせてない人は、使わずに貯金していたちっけな元気を思いきり使いきってほしい。元気な人から元気を借りても元気を使っていると、不思議に大きな元気がたまってくる。物や金や情報よりも大切なものがあるはずだ。21世紀、忘れていた魂への心くばりをぼくたちの乾いた心に取り戻したいと思う。(がんばらない 鎌田實著)より

社会福祉法人南相馬福祉会

## 基本理念 『安心・信頼・やすらぎ』

特別養護老人ホーム万葉園 運営方針

